

前哨戦 4氏はや熱気



鳴海一芳氏



秋野恵美子氏



迫俊哉氏



森井秀明氏

出直し小樽市長選 19日告示

小樽市の森井秀明前市長(45)の任期途中の辞職に伴う出直し市長選は19日に告示される。森井氏をふくめ、すでに元市幹部ら4氏が名乗りをあげ、事実上の選挙戦に突入。街頭で政策を訴える辻立ちや集会を開いて、支持者の獲得に乗り出している。

森井市政は是非か

選挙戦は前職の森井氏に、元市総務部長の迫俊哉氏(59)、元市保健所長の秋野恵美子氏(66)、市民団体代表の鳴海一芳氏(63)の顔3氏が挑む構図となる見通し。26日の投票票に向け、早くも前哨戦で熱気を帯びている。

早朝、小樽市内を貫く国道5号。雨具に長靴姿の森井氏が、行き交う車の通勤客に語りかけていた。

「市議会は小樽を変える改革にことごとく反対してきた。市民の民意を改めて示すことで、市議会を市民のための議論の場に変えたい」。出直し市長選という手段に訴えた理由を、こう

説明した。

3年前、「脱しがらみ」を訴え、与野党相乗り候補を破って初当選した森井氏。だが、市議会と対立を繰り返して、市政運営に行き詰まった。今回は、3年間の市政の審判を受ける立場。森井氏は約1時間、頭を下げ続けた。

一方、新顔3人の森井市政への評価は手厳しい。自民、公明、立憲民主の3党と商工会議所、連合小樽の5者から支援を受ける迫氏は「市役所の機能低下や市議会での混乱。さらに

4氏が共通して政策課題に掲げるのが人口減少だ。小樽市はかつて「北のウオール街」と呼ばれ、多くの銀行が軒を並べる北海道の経済の中心だった。人口は高度成長期の1964年に20万7千人とピークを迎

経済界とも信頼関係が築けず、このままでは将来のまちづくりは視界不良だ」と市内での集会で森井氏を批判してきた。

秋野氏は市保健所長だったとき、毎週、部長会議で森井氏と顔を合わせていた。「市長としてのビジョンを示さず、何をしたいのか分からなかった。財政悪化への危機感も感じられなかった」と振り返る。

裁判所事務官として公務員生活が長い鳴海氏は「市役所の持つ能力を活用できていない」と指摘する。

「人口減」喫緊の課題

えた。その後は半世紀減り続け、いまは約11万7300人と約半分。北見市に次ぐ道内9位に転落した。近年は年2千人のペースで減少が続く。特に札幌市への転出が多い。札幌近郊では小樽の「一人負け」

だ。小樽市と小樽商科大は7月、小樽の人口減の背後には、平均所得の低さと生活環境への不満があるとの研究結果を発表している。

4氏はそれぞれ処方箋を打ち出しており、早くも論戦が始まっている。

森井氏は3年前の公約に掲げた子どもの医療費や保育料の軽減など子育て世代に手厚い政策で、人口減に歯止めがかかり始めた、と主張する。一方、迫氏は経済活性化こそ最大の対策として、働く場を生み出す中小企業を支援し、人口流出を食い止めると訴える。

秋野氏はきめの細かい教育で「小樽に住んで、子どもを育ててもらおうことが大切」と話す。鳴海氏は、観光を小樽の主要産業に育て、若者の雇用拡大をはかりたいと主張する。

26日の出直し市長選投票まで2週間。活発な論戦が繰り広げられそうだ。

(佐久間泰雄)

民間試験 比較に課題

東大「公平性に疑問」波紋

結論遅れ 受験生に負担

大学入学共通テストで導入される、英語民間試験の成績活用の基本方針を約半数の国立大が決められずにいる。目的が異なる複数の試験を比較することの公平性などについて、学内で議論が続いているケースが多い。しばらく公表できないとする大学も多く、受験生への影響を心配する声もあがる。

▼1面参照

「他大学の状況を見ながら検討しているが、方針を決めるのは9月ごろになりそうだ」(千葉大)

英語の民間試験導入は、大学入試改革の目玉の一つ。日本の高校生は「読む」「聞く」と比べて「話す」「書



く」が苦手とされる。社会のグローバル化に伴って英語力の重要性が増すなか、文部科学省などは4技能を大学入試で測ることに由来するレベルアップに期待する。だが、申請を受けて導入が決まった8種の民間試験は目的や実施状況が異なる。大学入試センターは、成績を国際標準規格「CEFR」の6段階のレベルに当てはめて比べる予定だが、公平な比較ができるかを疑問視する声は根強い。

また、試験によっては受験料が2万5千円以上かかったり、全都道府県で実施されなかつたりする。このため経済的・地域的な格差も懸念されている。

そんななか、多くの国立大の決定に影響を与えているのが東京大の動向だ。民間試験の活用方法を検討するために設けられた同大の学内ワーキンググループ(WG)は7月、公平性を疑問視し、「成績の提出を求めない」を最優先の案とする答申を公表。民間試験の活用を求める国立大学協会のガイドラインを否定するような内容で、各大学に衝撃が走った。

東京芸術大の入試担当者は「民間試験を活用する方向で7月に公表することも考えていた。だが、答申を見た教員から反対意見が強く出て、議論が振り出しに戻った」と語る。東京大との併願者が多い東京医科歯科大の担当者は「大きく影響するので、東大の発表を見ながら考えたい」とする。東京大も当初は7月の公表を目指していたが、9

月になる見込みだ。

民間試験の活用を決めた大学でも「公平性を疑問視する意見もあり、具体的な方法は決まっていない」(三重大)といった声が多い。山極寿一総長が国大協会長も務める京都大の担当者は「何らかの形で活用したいが、非常にデリケートな問題で、活用方法を慎重に

「影響小さく」配慮

活用方法を決めた大学の中でも、影響を小さくするために「出願資格」としてあるケースがある。旭川医科大の担当者は「民間試験の比較に用いるCEFRのレベルが適切かわからないため、影響を小さくしたかった」と話す。東京外国語大はCEFRのA2レベル以上を出願資格とする。英検にあてはめると準2級(高校中級程度)から2級(高校卒業程度)の間だ。担当者は「多くの受験生に、広く機会を提供する狙いがある。学力は、個別試験も含めて判断できる」。センターの試験に加点する大学もある。広島大は5月、「条件を満たせばセンターの試験で英語を満点と

検討している」と話す。各大学が方針を決めかねる状況について、駿台教育研究所の石原賢一部長は「公平性などに問題があるため、他大学の様子を見たり、東大の決定を待ったりする気持ちはわかる」と話す。だが同時に「しわ寄せは受験生に来る。早く決めてほしい」と注文をする。

2020年度から大学入学共通テストが始まり、大学入試が大きく変わります。大学入試を取り巻く動きを、随時お伝えします。

■国立大の英語民間試験の活用方針

- 一定以上の成績を出願資格とする (4大学)
旭川医科、東京外国語、滋賀、滋賀医科
- 大学入試センター作成の英語試験に加点する (6大学)
岩手、秋田、長岡技術科学、愛知教育、名古屋工業、広島
- 出願資格としたうえで加点する (2大学)
長崎、熊本
- 活用方針だが詳細未定 (33大学)
室蘭工業、弘前、福島、茨城、筑波、宇都宮、群馬、埼玉、東京学芸、東京農工、東京工業、電気通信、一橋、新潟、上越教育、山梨、信州、富山、福井、三重、京都、京都教育、大阪教育、神戸、奈良女子、和歌山、岡山、山口、鳴門教育、福岡教育、九州工業、佐賀、琉球
- 未定 (37大学)
北海道、北海道教育、小樽商科、帯広畜産、北見工業、東北、宮城教育、山形、筑波技術、千葉、東京、東京医科歯科、東京芸術、東国、京海洋、お茶の水女子、横浜、立、金沢、岐阜、静岡、兵庫、工芸繊維、大阪、兵庫教育、奈良教育、鳥取、島根、徳島、愛媛、高知、九州、鹿児島、鹿児島、鹿屋体育

企業と大学 橋渡し

道商連 来月札幌でフォーラム



中、道商連には各地の商工
会議所や道内中小企業から
「合同企業説明会に出席し

ても、参加する学生が少な
い」との相談が多く寄せら
れていた。道商連は「従来
型の採用活動では学生は集
まらない。大学と連携し、
企業側から踏み出す攻めの
対応が必要」という。
フォーラムは9月6日午

後3時から6時まで、ニユ
ーオータニイン札幌(札幌
市中央区北2西1)で開催。
道内の商工会議所会員企業
限定で、先着40社。参加費
は一人千円。申し込みはス
キヤナビ北海道のサイトか
ら。
(瓦木毅彦)

北海道商工会議所連合会
(道商連)は9月6日、企
業の採用担当者と大学のキ
ャリアセンター・就職課を
直接結ぶ催し「スキヤナビ
フォーラム」を初開催す
る。パネルディスカッショ
ンや情報交換会を通じ、道
内企業と大学側の相互理解
を深める狙い。11月には企
業の担当者が大学を訪れる
バスツアーも行う予定だ。
小樽商大、北海学園大、
札幌市立大、藤女子大など
札幌圏の16大学が参加予
定。当日は札幌大谷大の平
岡祥孝教授や道内の企業経
営者らによるパネルディス
カッションの後、懇談形式
の情報交換会や名刺交換会
を行う。11月には文理系別
に大学のキャリアセンター
を2日で4カ所程度回るバ
スツアーも計画している。
新卒採用が学生優位の

同窓の御霊慰める！緑丘戦没者記念塔建立50回目 (2018/08/15)

ツイート

小樽商科大学(緑3・和田健夫学長)は、終戦記念日の8月15日(水)11:59から、構内の緑丘戦没者記念塔前で「慰霊祭」をしめやかに挙行。12:00のサイレンに合わせ黙祷を捧げ、戦没者同窓の御霊を慰めた。

悪天候にも関わらず、同記念塔の建立から50回目とあって、遺族・学生・OB・学校関係者ら約90名が参列。記念に作成したパンフレットを配布し、附属図書館2階で「建立50年記念企画展」を、同3階の史料展示室を臨時開館した。

同記念塔は、大学構内の東側の石狩湾を望む高台に、1969(昭和44)年に完成。戦火に散った学生・教員322名(現在は347名)の氏名が刻まれた墓石と、「戦の野に果つとも 若き命 この丘にとどまりて 消ゆることなし 友よ 安らかに眠れ」と書かれた碑石が納められ、第一回慰霊祭が行われた。毎年8月15日に、遺族をはじめ同窓生・同期会の人々が集まり、戦没者を偲び哀悼の意を捧げ続け、今年で50回目を迎え、6月には改修を済ませ、今日の日を迎えた。



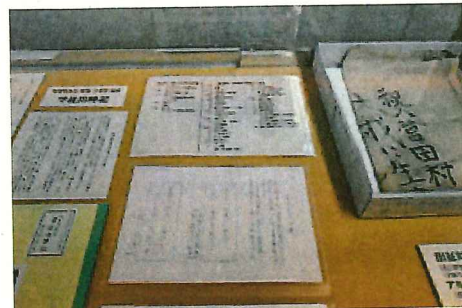
和田学長は、「第一回目の慰霊祭において、当時の学長が記念塔とこれによって象徴された永遠の平和を追求することを、学園の最も貴重な遺産として未永く守りぬいていきたい。この決意を守り、記念塔の保存と慰霊祭の開催に尽力した関係者に、深い敬意と心からの感謝を申し上げる。戦後73年を経てなお、戦争の影響が消えることはない。我々は、戦没者の慰霊と平和を誓う営みの大切さを改めて認識し、永遠に続けることを誓う」と挨拶した。

引き続き、緑丘会・山田二郎札幌支部長は、「今日の平和が、数多くの先輩の皆さんの命の犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはならない。戦争の惨忍さ・悲惨さ・平和の誓い・平和の願い・様々な思想の違い・イデオロギーを乗り越えて、後世に伝えることが、今を生きている私達の使命である」と述べた。

その後、参加者が1人ずつ献花し、グリーン&カンタール、グリークラブOBによる、小樽商科大学学園賛歌・校歌・若人逍遙の歌・進軍歌を歌った。

1986(昭和61)年卒業のグリークラブOBで札幌在住の男性は、「慰霊祭は3回目で、一緒に歌ったOBを見ながら、心を新たにしたい。今後も参加したい」と話していた。

一部の参列者は、その後、同企画展に立ち寄り、田村忠氏の遺族や関係者が提供した緑丘の特攻隊員の出征時の寄せ書きや2年Bクラスの最後の集いを記念したアルバムも展覧した。



◎関連記事

若者に「赤紙」配布

樽商大では戦死学生慰霊

平成最後となる終戦の日15日、道内各地で平和を祈る催しや戦没者の追悼式典が行われた。平成生まれの若い世代は「戦禍の記憶を風化させない」と不戦を誓い、戦争体験者や遺族らは平和の願いを次代につなぐ決意を新たにされた。

札幌市中央区の街頭で、約50人が、防卒きんやもは、北海道平和婦人会が呼び掛けた75の市民団体などでつくる「さっぽろ平和行動実行委員会」のメンバー「赤紙」を受け取った同市



西区の会社員横山広起さん(23)は「平成の時代に生まれ育った世代だからこそ、戦争の記憶を風化させない」という思いを持ち続けた



い」と語った。旭川市中部の平和通買物公園でも、旭川平和委員会などの市民団体が「赤紙」のコピー約200枚を買い、物客らに配り、戦争反対を訴えた。同市の主婦水野祐子さん(26)は「女の子を昨

④戦時中の召集令状「赤紙」のコピーを受け取り、平和の願いを新たにしたい市民

⑤戦没者の名前が刻まれた戦没者記念塔に手を合わせる参列者。小樽商科大

年出産し、平和の大切さを実感するようになった。赤紙1枚で子どもたちを戦地に行かせるような国には、二度となつてほしくない」と力を込めた。小樽市の小樽商科大では、前身の小樽高等商業学校から学徒出陣などで出征し、戦死した学生や卒業生の慰霊祭が営まれた。1969年に大学敷地内に戦没者記念塔が建立されて以来、毎年行われ、今年で50回目。遺族や同窓生ら約90人が参列、戦没者347人に黙とうをさげた。同校卒業生の兄が26歳でガダルカナル島で戦死した江別市の藤井真治さん(87)は「兄は戦争のため若くして死んでしまった。悲惨な歴史は繰り返さないでほしい」と願った。

函館市では、10カ所の寺院と教会が鐘を鳴らし、平和を祈った。トリスチヌ修道院には市民約15人が集まり、司祭らの朗読に耳を傾け聖歌を歌った。同市の原ミナ汰さん(62)は「節目の日、戦争についてし

両陛下 最後の戦没者追悼式

遺族「常に国民のそば」

在位中、最後となる全国戦没者追悼式に臨んだ天皇、皇后両陛下。参列した遺族からは「国民に寄り添っていただいた。正直寂しい」と惜しむ声が聞かれた。しかし、「新しい天皇にも平和への思いを引き継いでほしい」と期待を語る人もいた。

「両陛下はいろいろな場所を慰霊で訪れてくださった。平和に関してとても熱心だった。父や妹と訪れた青森県板柳町の大学生土藤里紗さん(23)は、祖父の兄がシベリア抑留中に亡くなった。

「これから生まれてくる子どもは、戦争経験者から直接話を聞くことができないので、私たちが経験者から話を聞いて次世代に伝えていきたい」と話した。親族を旧満州(現中国東

北地方)で亡くした千葉県旭市の遠藤康俊さん(69)は「この場に立ち会えて感無量。最後の出席ということに寂しさもある」と目に涙を浮かべた。

被災地にも積極的に足を運ばれるなど、両陛下は常に国民のそばにいてくれた」と述べたのは、娘と足を運んだ奈良県生駒市の眞住居嘉代子さん(75)。国民に寄り添い続けてきた両陛下の姿を振り返り、「本当に素晴らしいお一人」と感慨深げだった。

陸軍兵だった父が中国で戦死した兵庫県丹波市の柿原啓志さん(88)は「国民の多くが戦争を知らない時代になるからこそ、新しい天皇には両陛下の平和への姿勢を引き継いでほしい。これからも戦争が起きないように」と力を込めた。

未来へ託す 誓う

不戦の誓い新たに

平和の尊き次世代に

終戦記念日の15日、小樽市民センターのマリンホール(色内2)では、小樽市が戦没者追悼式を行った。遺族ら155人が黙とうをささげ、祭壇に献花し戦没者の冥福を祈った。(前野真大)

市長職務代理者の日榮聡総務部長は「今ここにある平和と豊かさは戦没者の方々の尊い犠牲の礎の上に築かれている。先人たちへの敬意や感謝の念を忘れることなく、平和の尊さを次の世代に伝えていかなければならない」と式辞を述べた。

遺族を代表し、祖父が27歳の時に中国河北省で戦死した、北海道連合遺族会青年部の吉田祥子副部長(58)は「小樽



祭壇に献花し、戦没者の冥福を祈った出席者

(前野真大)

市新光5は「遺族の高齢化が目立っている。戦争を経験していない世代は国家が起した戦争の歴史を正しく理解する必要がある。苛烈な戦争の事実を決して風化させることなく、次世代に継承していく」と話した。

学生犠牲者悼み

樽商大で慰霊祭

小樽商科大は15日、構内にある緑丘戦没者記念塔前で慰霊祭を行った。遺族や同窓会

戦没者の名前が刻まれた慰霊碑に手を合わせる参列者
小樽商科大



切さを認識し、慰霊祭を永遠に続けていくとあいさつ。大学4年の時に第1回の慰霊祭に出席した緑丘会札幌支部の山田二郎支部長(70)は「今日の平和は先輩の犠牲の上に成り立っていることを忘れず、戦争の悲惨さを後世に伝えることが使命だ」と述べた。参列者は黙とうをささげ、戦没者の名前が刻まれた慰霊碑に献花した。兄が21歳で戦死したという小樽市の藤田栄子さん(80)は「戦争がなければ、兄も楽しい青春時代を送っていたはずなのに」と目を潤ませた。

企業法学科3年の菅野瑞貴さん(20)は「普段は遠い昔のように感じてしまうが、あらためて歴史の重みを実感することができた」と話した。

(谷本雄也)

この街にこの会社

— 道内中小・中堅企業の紹介

株式会社エッセ

＝札幌市



平塚彰社長

企画力誇る不動産総合サービス

マンションのリノベーションに色や素材の見本を調べる社員ら



部屋の賃貸仲介から店舗開発まで手掛ける総合不動産会社。札幌本社と函館、釧路、小樽の3支店の緊密なネットワークで生み出される豊富な不動産情報を生かし、顧客の幅広い要望にきめ細かく応えている。

具体的には「大学生に部屋を貸したい」「住み替えをするので家を売りたい」などの依頼や、「賃貸マンションの入居率を上げたい」「古い社宅を活用したい」などの相談に応じ、借り主や買い主を探したり、活用策を企画して提案したりする。

会社の特長の一つはこの企画力。「リノベーション」はその一例で、「刷新」や「革新」などを意味するこの手法では、例えば古い部屋や建物を貸す際に単に補修するのではなく、デザインや用途に斬新な改造を

施す。これにより賃料や入居率の向上が見込まれ、マンション所有者などへの有力な提案事業となる。

さらに長年にわたり顧客向けに税務・財務・法務にも力を入れており、平塚彰社長(58)は「不動産に関わる総合的なサービスをワンストップで提供できるのが強み」と話す。札幌と小樽には9棟の自社マンションを所有し、この安定した賃貸収入が経営を支える土台になっている。

平塚社長は今春、向こう10年の基本戦略を策定した。賃貸事業を中核にそれに近い事業を広げつつ、新たに外国人向けの不動産ビジネスも展開していく。新時代を共に歩む人材として求めるのは「何でもやってみようという人」。チャレンジ精神旺盛な学生の応募に期待を込める。

設立	1961年	業務内容	賃貸マンション経営・管理(入居者募集営業など)、不動産売買仲介、不動産有効活用の企画提案
本社	〒060-0004 札幌市中央区北4西6北四条ビル2階 ☎011-242-2220	支店	函館、釧路、小樽
資本金	1千万円	社員数	35人
売上高	10億9600万円(2018年3月期)	採用	17年春…1人 18年春…1人 19年春予定…若干名